

関西支部シニア会活動報告

行事名	シニア会と学生会との交流会
回次	第 12 回
開催日	2017 年 10 月 29 日 (日)
場所	大阪産業大学梅田サテライトキャンパス (大阪駅前第 3 ビル 19 階)
参加人数	37 名
行程	<p>上記会場において、午後 1 時 30 分から 5 時 30 分まで開催。詳細な会次第は別紙のとおり。</p> <p>参加者はシニア会から 11 名 (城野会長、藤田副会長、土井健志幹事、森本吉春委員、谷口邁委員、加治増夫委員、仲津英治氏、溝口孝遠委員、大村勝氏、岡方義則氏、林和宏委員)、学生会から 26 名 (学生会担当幹事の瀬川大資先生、山本恭史先生、顧問の菊地邦友先生と学生 23 名 (学生の参加予定は 25 名であったが、当日の台風の影響による交通事情により 2 名が欠席)) の合計 37 名。林委員の司会により進行。城野会長の開会あいさつに続いて、藤田副会長による基調講演「大形の実験や製品トラブルの経験からものづくりへの提言」、シニア会メンバー 4 氏 (森本氏、谷口氏、加治氏、仲津氏) による自己紹介を兼ねた経験談・提言がなされた。続いて、学生からの提言として、関西大学の河田雅至君が「現代社会におけるエンジニアとしてあるべき姿」と題して、また大阪府立大学の岡崎竜之介君 (都合により、当初予定の水野日向君と交代) が「学生が目指すべき、社会に求められる技術者」と題して発表を行った。この後、しばらく休憩をとってからグループ別討論会に移行。シニア会の 11 名に学生会担当幹事および顧問の先生にも加わっていただいて、4 グループに分かれて討論を行った。約 1 時間の討論の後、全体での総括に移り、各グループの代表学生からグループ内での討論の内容等についての報告がなされて、質疑応答、意見交換を行った、この後、関西学生会委員長の大和史明君 (大阪府立大学) の閉会あいさつがあり、参加者全員の記念写真の撮影を行って終了。</p>
感想	<p>藤田副会長による基調講演では、三菱重工での大形機械設備の設計・開発・研究において、自身が経験されたトラブル事例を紹介。それらの原因、解決策の説明とともに、失敗から得られるものも多いことに言及された。学生諸君にとっては、大いに参考になったのではないかと。シニア会メンバー 4 氏による自己紹介を兼ねた提言では、それぞれの技術者、研究者としての経歴を説明される中で、森本氏はベンチャー企業の面白さと苦労話、谷口氏は三菱重工での大形機械の軸受開発の経験、加治氏は学位論文の研究課題で苦労されたこと、仲津氏は新幹線車両の設計・開発において自然界から大きなヒントを得たこと、などを紹介され、いずれも学生諸君には大変に興味深い内容のお話であった。学生からの提言では、河田、岡崎両君から (どちらも M1)、現在取り組んでいる研究内容の説明とシニアに聞きたいこととして、①無理な課題 (要求) を与えられた時、どのように対処したか? ②残業についてどう思うか? ③長年にわたって仕事を続けられた原動力は何か? (家族? お金? やりがい?) ④技術者として、チームで取り組んだ体験談 ⑤技術者として、一緒に仕事をしたいと思う人物像は? ⑥学生時代にやっておいて役立ったことは? ⑦進路を決めるにあたってのアドバイス、があげられたが、これらについてのシニアからの回答や議論は、この後のグループ別討論会で、参加者全員を 4 グループに分けて行った。コーヒーとサンドウィッチ、菓子などをほおぼりながら、約 1 時間、あちらこちらから笑い声も聞かれる打ち解けた雰囲気の中、活発な討論が行われた。交流会終了後の学生諸君からは、異口同音に、今回の交流会に参加して、普段は話を聞けないような大先輩と貴重な交流を持てたことは、大変に有意義であったとの声があった。</p>



写真1 城野シニア会会長の開会あいさつ



写真2 藤田副会長による基調講演



写真3 シニア会員による自己紹介を兼ねた提言

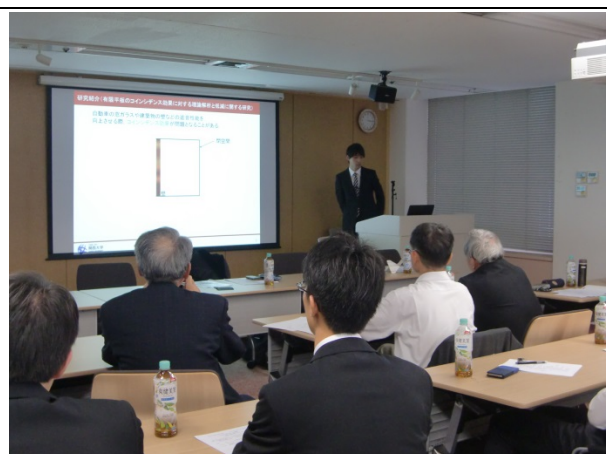


写真4 学生からの提言



写真5 グループ別討論会風景



写真6 参加者全員での集合写真